

2023年度

ニチイキッズ富安保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月26日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの興味や発達をどう捉えて遊びに取り入れていくかを職員間で話し合いながら保育を行った。子どもが自分の思いを表現しながら主体的に活動し、満足するまで遊ぶことができる環境、保育者の関わりについて職員で同じ意識を持って取り組んでいきたい。
子どもの発達援助	子どもの姿から、一人ひとりの発達に合わせたあそびや環境の設定を考えて保育をするようにしてきた。子どもが興味を持った活動に意欲的に参加することで様々なことを身につけ、子どもの発達段階をしっかりと捉え、保育計画、内容、保育者の関わりを検討し実践していく。
保護者に対する支援	日々の子どもの様子や体調、成長の姿を送迎時に詳しく伝えるよう心掛けた。また食事や生活習慣を身につけていくこと、子育てに対する相談等について保護者の思いを受け止めながら丁寧に連携をとるようにしてきた。園の保育を知らせ、保護者や地域の子育て中の保護者に向けてより多く情報発信をしていきたい。
保育を支える組織的基盤	保育理念・保育目標に則った保育について共通認識を持ち、職員間できめ細やかに連携を取って子どもに関わっていく大切さを感じている。保育計画や保育内容、子ども一人ひとりの育ちについて園全体で十分に話し合い保育にあたっていきたい。また、研修会への参加等によりスキルアップを図り、全職員で共有しながら日々の保育に活かしていきたい。

総評
一人一人の子どもの興味や発達に合わせて保育者がどう関わるのか、子どもが意欲的に活動するためにどのような援助が必要かを考えながら保育をするようにした。子どもが感情をありのままに表現できるよう保育者が子どもの心に寄り添い、丁寧に関わることの大切さを感じている。次年度も保育理念である「思いっきり遊ぶ・思いっきり学ぶ」を基に園の保育を考え、子どもが安心して主体的に活動できるよう全職員で連携を取って保育にあたっていきたい。また、保護者や地域の方とのコミュニケーションを大切に信頼関係を深めながら、園の保育をより広く知ってもらえるようにしたい。